

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます  
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

# 土浦平和の会

ニュースNo. 198 2008年8月 - 2

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

[http://www.geocities.jp/ino011\\_jp/](http://www.geocities.jp/ino011_jp/)

## 原爆と人間展 2,766人が入場

被爆63年の「原爆と人間展」は今年もウララ5階の県南生涯学習センターギャラリーにおいて、8月1日から7日まで行なわれました。6日間(4日は休館)の入場者は4年間で最高の入場者になりました。核廃絶署名は191筆、九条署名も94筆できました。スタッフのみなさんご苦労様でした。2日のピースデーは午前中 鎌仲ひとみ監督がイラクの劣化ウラン弾の被曝者、広島・長崎の2次被曝の被害、さらに肥田舜太郎氏がアメリカワシントン州ハンフォード核施設周辺の低線量被曝の恐るべき拡散を取材して、国境のない核汚染の実態に警告を鳴らしたドキュメント映画「ヒバクシャ 地球の終りに」を上映、午後は広島の被曝者中村房江さんの証言、07年土浦市平和使節団の報告、アニメ映画「つるのって」の上映があり、延べ70人が参加しました。



ピースデー07年土浦市平和使節団の報告

## 2008平和のつどい

伊藤千尋氏を迎えてのトークショー「ゲバラの夢、南米の今」が亀城プラザ文化ホールで行なわれました。

南米諸国が反米大陸と呼ばれるようになった原因はなにか。親米政権が推し進めた米国流の新自由主義は公営企業を民営化し米国資本に奉仕した。リストラによって労働者、市民の困窮が進みデモや抗議行動が起こり、政府も譲歩せざるを得なくなるが、それだけではすまない政治的な変化が起こった。政権が変わり、いまや米国支配から自立して結束し、経済協力から南米共同体へと向かおうとしている現状やコスタリカが国家予算の30パーセントを占めた軍事費を全て教育費にあて、周辺国と平和的な同盟関係を結び安全保障体制を作り上げている事実から、アジアが今後軍事に頼らないで友好を深めるにはどうすべきかを問いかけてきました。ボリビア大統領は「日本国憲法の精神を取り入れたい」といい、カナリー諸島の島にスペイン語の「日本国憲法の碑」が立っている。日本は平和憲法を持っていることに誇りを持って、世界平和のために役割を果たすべきだと訴えました。約150人の入場者が熱心に傾聴しました。



開会(助川実行委員長)

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122  
 早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます  
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

## 原爆と人間展（ピースデー）に参加して

戦後60余年、次第に戦争の記憶が薄れていく中、現代を生きる私たちは意識して、戦争について考える機会をもったり、伝えていく努力をしていく必要があると思う。「歴史は繰り返される」という言葉があるように、戦争を身をもって体験してきた方々が亡くなっていくと、また同じ過ちを繰り返す方向へと向かっていくのか・・・と思わされる。とくに近年、「憲法9条」を改正（改悪？）させて、戦争ができる国へと変貌させていこうという流れの中、「自分にできることは何だろうか・・・」という思いから、今回参加させていただいた。

土浦市平和使節団を務めた中学生、高校生の発言は本当に心に響いた。その中に、「この世から“戦争”という言葉さえなくなればいいと思った」というものがあった。一般市民という立場で「戦争のない社会」を願うためには、「なぜ、戦争をするのか」「なぜ、戦争が必要なのか」ということから目を背けてはいけなと考える。では、なぜ為政者は戦争をしようとするのか？ 想像の範囲であるが、自らの権力の誇示、自分たちの私利私欲、人間（とくに男性）に本質的に備わっているというテロリズム性・・・そういったものは程度の差こそあれ、権力の座についた者の性（さが）なのかもしれない（誰しもそういった“芽”はあるものかもしれない）。そういったことを考えた上で、一般人の立場から、「私たちが求める幸せ」というものを訴え、それを実現するためには戦争など必要ないこと、どれだけ戦争が人の幸福を奪うものか、ということ・・・多少の考え方の違いこそあれ、「大きな点」では皆同じ・・・それぞれがバラバラにある“平和のねがい”を束ねていくことが大切なのだと思う。

原爆が今、自分の街に落とされたら・・・そのいいようもない恐怖、愛する町並みが無残な姿に変わる心の傷跡、そこから立ち直ることのない絶望的状况・・・どれだけ想像力を豊かにできるかが大切だと思う。今後、時が流れ、時代が変わっていく中、今の平和は黙っていて、すなわち努力することなく守られるものではないと思う。その努力を怠ったとき、「二度と繰り返してはいけな」と固く誓ったはずの戦争の惨禍が再び繰り返されてしまう。ある中学生が言っていたが、「いかにして“今動ける人”になるか」そのために、自分に何ができるのかを、これを機にいっそう深く考えていきたいと思う。

（30代 教員）

## 「憲法改悪反対」土浦駅頭宣伝署名（8/9）

憲法改悪反対茨城共同センターは第2回全県統一行動を8月9日JRの12箇所の各駅で行ないました。土浦駅では午後1時から土浦労連、土浦平和の会、新婦人の会、憲法九条土浦の会など22人が参加して署名とチラシを配り、ハンドマイクで訴えを行ないました。



### 活動ごよみ

8・1～7 原爆と人間展  
 8・2 ピースデー  
 8・15 2008平和の集い

8・19 平和の会理事会（コープ土浦）

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122  
 早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください